

バドミントンの線審

線審の役割とは

バドミントンの線審は、**担当ラインについてシャトルがインかアウトかを判定します。**

シャトルの最初の着地点（主にコルク部分）が担当のラインに少しでもかかっていたらイン、ライン外に出た場合はアウトになります。

バドミントンは一つのプレーで試合の流れが変わる繊細なスポーツです。
責任感を持って、公平な審判をするようにしましょう。



ポイント：

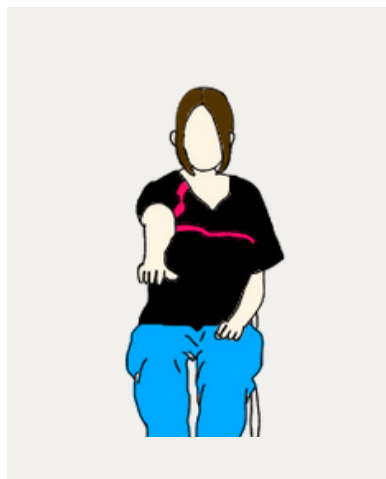
- ✓ シャトルが**落下してから判定**すること
- ✓ 担当ライン付近にきたシャトル**すべてに対して合図**を出すこと（明らかであっても）
- ✓ 選手との接触に気を付けること（シャトルに**集中**すること）
- ✓ 自信を持って**毅然とした態度**で合図すること

合図の出し方：

イン・・・無言で、右手でそのラインを指す。

アウト・・・はっきりした大きな声で「アウト！」とコールし、両手を水平に広げる。

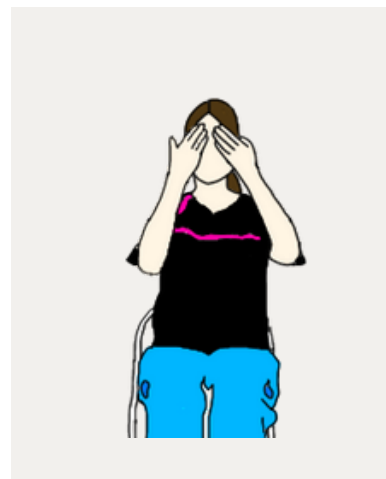
見えませんでした・・・両手で目を覆う。



イン



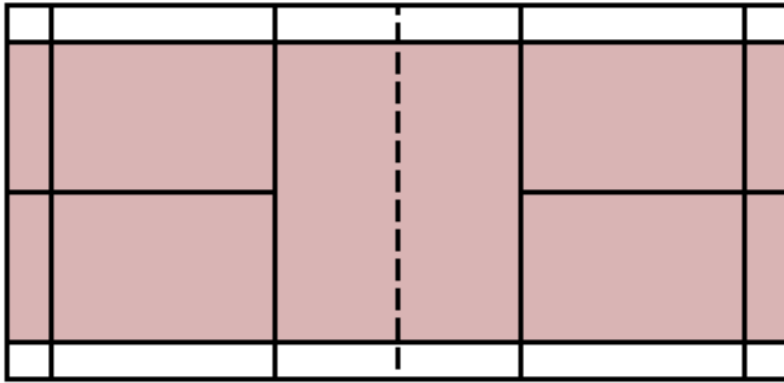
アウト



見えませんでした

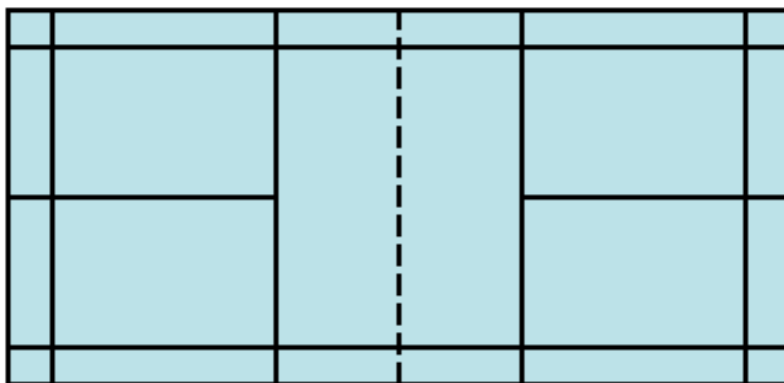
シングルスコート：

主審



ダブルスコート：

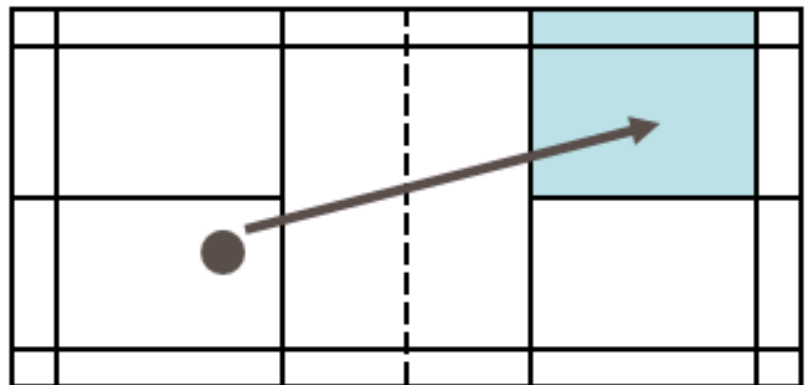
主審



【注意】

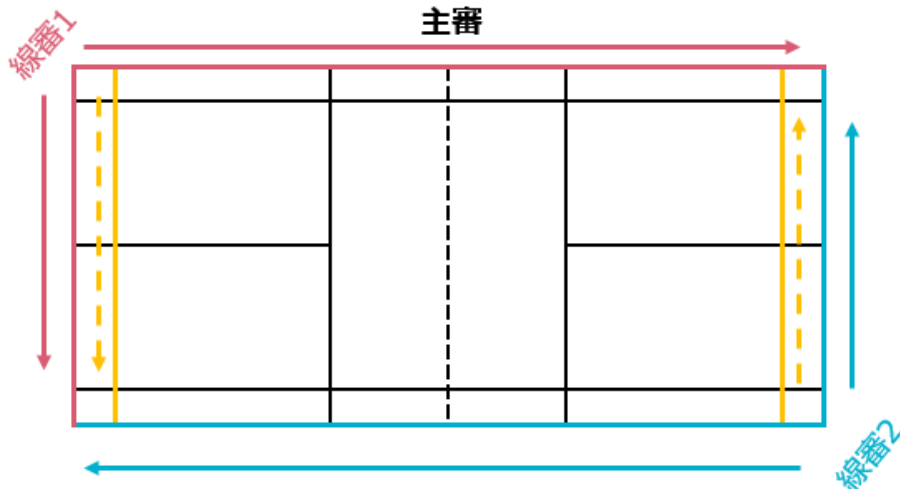
ダブルスのロングサービスラインは
手前のラインになります！

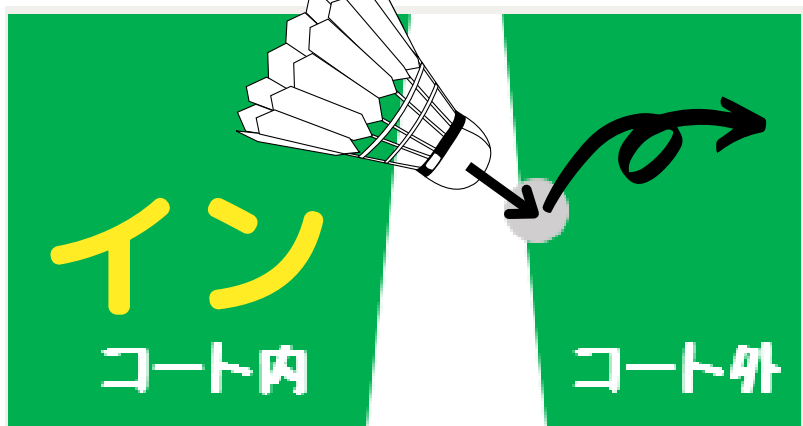
主審



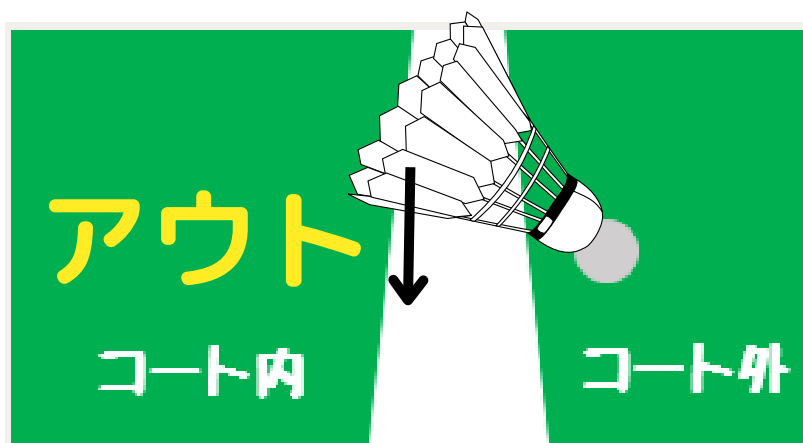
線審担当ライン：

主審



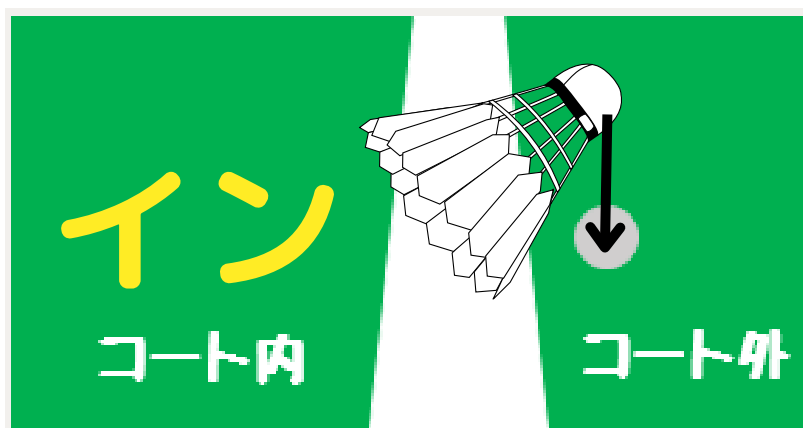


コルクが少しでも
ラインにかかっている



コルクが外に落ちた後
ライン上に羽根が落ちる

シャトルの構造上、まずありません↓↓↓



羽根がライン上につき、
コルクが外に落ちる

※審判の基準として、シャトルの最初の着地点がライン内か外かを判断するため